

名護市津波ハザードマップ(二見区)



津波の恐れがある時には海岸からできるだけ遠く、
できるだけ高い場所へ避難しましょう。

名護

大浦

瀬嵩

二見

世富慶

辺野古

・大浦のマンゴロープ林

18

わんさか大浦パーク

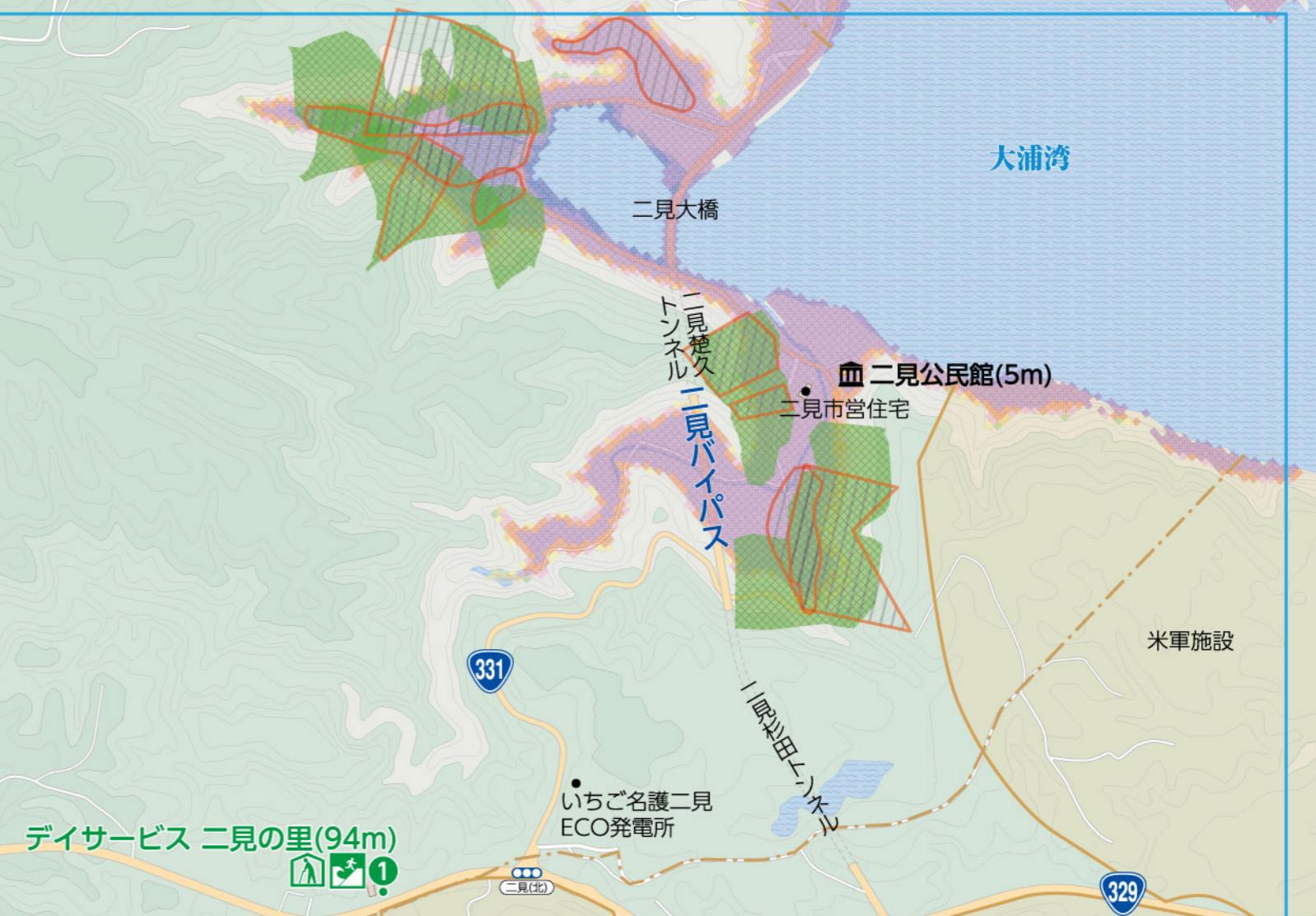
大浦橋

大浦川

血 大浦公民館(2m)

・大浦市営住宅(2m)

大浦湾



デイサービス 二見の里(94m)
①

いちご名護二見 ECO発電所
二見(北)

331

米軍施設

329

米軍施設

津波避難場所 海抜 m
① デイサービス 二見の里 94m

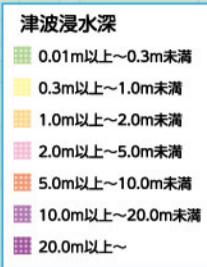
0 500m

凡
例

津波避難場所 土砂災害危険箇所 土砂災害警戒区域 米軍施設 国道 県道 信号機 大字界 公共機関 高齢者 お買物

津波浸水深

0.01m以上～0.3m未満	0.3m以上～1.0m未満	1.0m以上～2.0m未満	2.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10.0m未満	10.0m以上～20.0m未満	20.0m以上	



二見



ハザードマップの使い方

① ハザードマップの見方

ハザードマップでは、津波浸水場所と水深予測を色分けで表示しています。浸水の目安は下記を参照してください。また、地図内に土砂災害危険箇所、土砂災害警戒区域で表記されているエリアは土砂災害危険箇所、土砂災害警戒区域で表記されているエリアは土砂災害危険箇所、土砂災害警戒区域で表記されています。現在お住まいの周辺で予測される災害状況を踏まえ、安全な避難場所までのルートの選定にご利用ください。

*高潮ハザードマップは浸水深の色分けが津波ハザードマップとは違いますのでご注意ください。

浸水深：0.3~1m 通常行動が困難（歩くこと1.0mができない）。	浸水深：5~10m 2階建ての建物（あるいは2階部分まで）が水没する。
浸水深：1~2m 津波で巻き込まれた場合、ほとんどの人が死んでしまう。	浸水深：10m以上 3階建ての建物（あるいは3階部分まで）が完全に水没する。
浸水深：2~5m 水没家屋のほとんどが壊滅する。	

② 避難場所を確認しましょう

それぞれ災害の種別を考慮し、悪天候時や、夜間の視界が悪いことを想定して家族全員で避難場所を確認してください。

③ 避難ルートを地図に記入しましょう

災害の種別による避難場所までの安全なルートを、背面の地図に記入しておきましょう。

家族全員の目の届く所に貼り出していくことにより、いつでも確認ができる。

④ 避難時の持ち出し品をチェックしましょう

避難時の持ち物チェックリストをもとに事前に準備をしておきましょう。緊急時にすぐに持ち出せるように玄関付近など、保管場所も工夫してみましょう。

避難時持ち出し品		
<input type="checkbox"/> 非常用飲料水	<input type="checkbox"/> 救急用品 (包帯・三角巾・消毒液等)	<input type="checkbox"/> 小さい子供がいる家庭は ミルク・は乳瓶
<input type="checkbox"/> 食料 (カップ麺・缶詰・乾パン等)	<input type="checkbox"/> 筆記用具 (鉛筆・ノート等)	<input type="checkbox"/> 小さい子供がいる家庭は おむつ・ウェットティッシュ
<input type="checkbox"/> 貴重品 (現金・通帳・印鑑等)	<input type="checkbox"/> 衣類 (シャツ・パンツ・下着等)	<input type="checkbox"/> その他1
<input type="checkbox"/> 懐中電灯 (予備電池)	<input type="checkbox"/> マッチやライター ろうそくなど	<input type="checkbox"/> その他2
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ (予備電池)	<input type="checkbox"/> 車手(車の手袋)	<input type="checkbox"/> ヘルメット
<input type="checkbox"/> 安全帽		

台風について

① 台風が接近したら、まずは家の補強

補強する場所は、戸戸、窓ガラス、塀、物干し、アンテナ、看板など。接近までに時間がある場合は、防水シートや角材等も用意しましょう。

また、植木鉢は強風で倒れたり、飛ばされると安全なので1ヶ所にまとめておくと安全です。

② 停電や断水に備え、備品のチェック

飲料水、食料、簡単な医療品、下着、懐中電灯、ライター、ラジオは揃えてリュックに入れておきましょう。

③ 非常用備蓄品

<input type="checkbox"/> 非常用飲料水	<input type="checkbox"/> 下着 (2~3着分)	<input type="checkbox"/> マッチやライター ろうそくなど
<input type="checkbox"/> 食料 (カップ麺・缶詰・米など) 4~5食分	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 (予備電池)	<input type="checkbox"/> ラジオ (予備電池)
<input type="checkbox"/> 医療品	<input type="checkbox"/> 水の確保	
		1人1日あたり3ℓの水が必要といわれています。 「[例] 1人1日あたり3ℓの水を必要とする場合、10人1日で30ℓの水を必要とする」という計算式がありますので、お風呂の水はいつも使っておくようにしましょう。

④ 気象情報に注意しよう

台風等の気象情報は、テレビやラジオ、インターネットなどで最新の情報を収集し、市や防災機関の広報等にも注意して聞いておきましょう。

沖縄気象台
<http://www.jma-net.go.jp/okinawa/>

大雨について

① 急傾斜地・がけ近くは土砂災害に注意

大雨や集中豪雨で発生する土砂災害。

1. 小石がパラパラ落ちる。
2. 地面にひび割れができる。
3. 斜面から濁った水が流れ出している。

等を発見したら注意しましょう。

また、避難勧告が出たらすぐに避難してください。

② 冠水した道路の運転に注意

冠水路は迂回をし侵入しないようにしましょう。

冠水した道路の注意

1. 水没したらドアが開くうちに避難する。
2. ゆっくり走っても走りきれるとは限らない。
3. 速度を上げて走ると巻き上げる水量が増え、エンジンが止まりやすくなる。
4. エンジンに水が入り込むと止まってしまう。
5. 冠水路は水深も水の中の様子もわからない。

名護市役所

TEL:(0980)-53-1212 (内線 213)
FAX:(0980)-53-6210



eメールアドレス soumu@city.nago.okinawa.jp
ホームページ <http://www.city.nago.okinawa.jp/>
モバイルページ <http://mobile.city.nago.okinawa.jp/>

避難時の注意

いざ避難となった時に・・・

- できるだけ軽装で、はきなれた靴を着用しましょう。裸足や長靴は禁物です。
- 隣近所で助け合いながら避難しましょう。
- 一緒に避難する人とはぐれないように、特に子供から目を離さないようにしましょう。
- なるべく乗り物は使わず、徒歩で避難しましょう。

さらに大雨・台風の時は

- マンホールや側溝に注意し、杖などで水面下の安全を確認しながら歩きましょう。
- 強風で危険な物が飛んでくる恐れがあるので、ヘルメットや防災ズキン、厚手の帽子などをかぶるようにしましょう。

地震について

① 落ち着いて身の安全を確保する

テーブルや机の下に身を隠すなどして、まずは自分の身の安全を確保してください。

② あわてず冷静に火を防ぐ

使用中の火を素早く消しガスの元栓を閉めて下さい。もしも火災がおきたら隣近所に協力を呼びかけ、落ち着いて消火にあたりましょう。

③ 窓や戸を空けて出口を確保する

地震の影響による建物のゆがみで戸や窓が開かなくなることがあるので慌てずに出口の確保を行いましょう。

④ 慌てて外に飛び出さない

落下物や建物、ブロック塀の倒壊などの危険があります。周囲の状況をよく確かめ、落ち着いて行動しましょう。

⑤ 停電後の通電火災を防ぐ

⑥ 避難は徒歩で荷物は最小限に

⑦ 地震による土砂災害、津波に注意

名護市津波ハザードマップ(二見区)

津波の恐れがある時には海岸からできるだけ遠く、できるだけ高い場所へ避難しましょう。

津波避難場所 海抜 m
① デイサービス 二見の里 94m



高潮浸水深

0.5m未満
0.5m以上~1.0m未満
1.0m以上~2.0m未満
2.0m以上~3.0m未満
3.0m以上~4.0m未満
4.0m以上~5.0m未満
5.0m以上

猛烈な台風通過時に、大潮と高潮が重なった場合の想定です。

0 500m